

事務局

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>平成 27 年度通常総会が平成 27 年 2 月 19 日(木)10:00 より都道府県会館 402 号室で開催されました。</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告書が承認されました</p> <p>第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書が承認されました</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画書が承認されました</p> <p>第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書が承認されました</p> <p>報告事項</p> <p>○ILSI 本部総会が 1 月 16 日より 21 日まで、米国アリゾナ州フェニックス近郊で開催され総会の報告次のようにされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コカ・コーラ社のサポートにより、Malaspina International Scholar Travel Award が創設され、各地域から 10 名の若い研究者が参加し、日本から中西由季子教授(人間総合科学大学)が受賞した。 ・ ILSI Middle East(中東)支部設立に向けた study Group を承認。3 年連続の新設となる。 ・ 「One ILSI Approach : 産官学研究者協働の下、健康な生活を目指し科学に基づいた解決策の適合性、影響力の強化を図る」推進。4 つの科学的主題領域(食品安全、リスクサイエンス、栄養・健康、持続的農業と栄養安全保障)の活動報告がされた。 <p>○日本の食品の安全性を考えると食品の安全性・環境・フードシステム全体を扱う「新しい研究部会活動」を立ち上げたいとの提案が行われた。</p>
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【事務局】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	<p>ILSI Japan 平成 28 年度通常総会を下記のとおり開催します。</p> <p>日時：平成 28 年 2 月 17 日 (水) 午前 10 時～</p>

	<p>場所：アーバンネット神田カンファレンス</p> <p style="text-align: center;">http://kanda-c.jp/access.html</p> <p>また、同日午後には平成 27 年度農林水産省委託事業「食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業のうち食品規格基準等調査」の報告会が予定されています。</p>
--	--

【理事会】

1, 2 月	<p>平成 27 年度第 1 回理事会が平成 27 年 2 月 4 日（水）に開催されました</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告書が承認されました</p> <p>第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書が承認されました</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画書が承認されました</p> <p>第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書が承認されました</p> <p>報告事項</p> <p>1 ILSI Japan 総会は 2 月 19 日(木)午前 10 時より都道府県会館にて開催し午後には、平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開整備委託事業「アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース」についての報告会を行うとの報告があった。</p> <p>2 本部総会が 1 月 16 日から 21 日まで米国アリゾナ州フェニックス近郊にて研究財団、1 国際支部、15 地域支部から 330 名が参加して開催された等の報告があった。</p> <p>3 ILSI 本部役員会に於いて ILSI JAPAN CHP の活動報告及び今後の活動のあり方について説明。本部からは、資金確保・本部活動としての進め方について研究するスタディグループ（ファンブラーデレン ILSI 副会長をリーダーとする）を設置し結論を出すとの報告があった。</p>
3, 4 月	
5, 6 月	<p>平成 27 年度第 2 回理事会が平成 27 年 6 月 3 日（水）午前 10:00 より開催されました。</p> <p>○審議事項 なし</p> <p>○報告事項</p> <p>1. 第 7 回栄養とエイジング国際会議進捗状況について報告されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2015 年秋に向けたスケジュール」 ・参加登録 web 近畿日本ツーリストが管理運営 ・同時通訳関連 サイマルに依頼する予定 ・募金 辻村理事に財務委員長を依頼し企業を中心に寄付金を募る。 ・レセプション 9 月 29 日一条ホールセイホクギャラリーで実施予定。 ・ポスターセッション 30 枠を用意している。 ・プログラム、アブストラクト集、プロシーディングス <p>2. アジア栄養学会議について報告されました。</p> <p>5 月 15, 16, 17 日横浜で実施約 3,300 名の参加者があった。</p> <p>ILSI Japan は下記の項目で参加した。</p> <p>1) 二つの科学セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Food Safety Program in Asian Countries ・ Micronutrient Fortification Program <p>2) ILSI 展示ブース</p> <p>3. 農林水産省プロジェクトについて報告されました。</p> <p>1) 「平成 27 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等 調査」</p> <p>6 月 12 日入札締切りの入札に参加する予定。</p> <p>事業内容の概要は下記の通り</p> <p>2009 年から継続事業で本年度は 7 年目。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Database の拡充。 ・ 新規調査国：UAE、ブラジル ・ 新規調査対象食品等：菓子、レトルト食品、めん類、製造工程認証 <p>2) 「平成 27 年度輸出環境整備推進委託事業のうち輸入規制対策緊急調査（日本産）委託事業」（仮） 規制国のアカデミアを招きサイエンティフィックにデータを開示し理解を深めて貰う事業で入札を検討中。</p> <p>4. その他</p> <p>1) 本部の動き（WHO）について報告されました。 ILSI 本部は WHO のオフィシャルパートナーとして登録されていたが WHO より定款並びにメンバー会社の問題でオフィシャルパートナーとして継続しないとの通知があり、今後オフィシャルパートナーの表示はできないこととなった。早急の回復を目指す。</p> <p>2) 研究部会の改廃 1 年間活動のない研究会は廃止することとする。</p> <p>3) 賛助会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードプロダクトの販売を行っていない企業を賛助会員として認め活動内容を運用として別表で定める。総会への参加については今後検討する。 ・ 別件となるが、ILSI Japan メンバー会社の増加は常に検討する。
7, 8 月	
9, 10 月	<p>第 3 回理事会を平成 27 年 10 月 14 日 10 時より開催した。</p> <p>1. 審議事項</p> <p>議案 1. 理事選任の件 議案 2. 監事選任の件</p> <p>2. 審議の経過の概要及び議決の結果 山口事務局長より下記議案につき提案があった。</p> <p>議案 1. 理事選任の件 理事高瀬光徳氏の辞任に伴い後任理事候補として阿部文明氏（森永乳業株式会社素材応用研究所所長）が提案され異議なく承認された。新理事の任期は前理事の残存任期平成 28 年 2 月 24 日までとする。</p> <p>議案 2. 監事承認の件 監事伊藤建比古氏の辞任に伴い後任監事候補として小路正博氏（株式会社森永生科学研究所代表取締役社長）が提案され異議なく承認された。新監事の任期は前監事の残りの任期平成 28 年 2 月 24 日までとする。</p> <p>3. 報告事項 山口事務局長が下記内容を報告した。</p> <p>1. 第 7 回「栄養とエイジング」国際会議の収支見込み及び来場者数</p> <p>○収支見込み 収入は 4,020,000 円で予算に対し約 2,500,000 円不足した。 主な要因は会員寄附金が約 2,100,000 円不足・登録料約 500,000 円不足した。 支出は約 7,740,000 円で予算に対し約 1,800,000 円節減した。 主な要因は会場・備品費約 730,000 円節減・同時通訳関連費約 550,000 円超過・講師関連宿泊費及び交通費等約 680,000 円節減・その他約 940,000 円節減した。 収支差額はマイナス約 3,740,000 円で予算に対しマイナスが約 720,000 円超過した。 収支差額のマイナス約 3,740,000 円については、東大寄付講座事務局費用を充当し、第</p>

	<p>7回「栄養とエイジング」国際会議の収支差額はゼロとする。</p> <p>○来場者数 参加総数 175 名 内訳：会員企業 57 名 非会員 9 名 学生 3 名 座長・講師等関係者 106 名</p> <p>2. 本部総会関連情報 2016 年本部総会は 1 月 22 日より 1 月 27 日までフロリダで開催される。 サイエンスシンポジウムで ILSI Japan から「腸内菌叢の研究について」発表を予定している。</p> <p>3. 支部運営関連 2016 年度理事長等の役員の人選について討議した。</p> <p>4. その他 12 月に理事会を開催したい。内容は、① 本部総会にて ILSI Japan から報告するポスター案の提案、② 支部総会の議案の原案を討議する予定。</p>
11, 12 月	<p>第 4 回理事会を平成 27 年 12 月 4 日 10 時より開催した。</p> <p>○審議事項： 議案 1. 本部理事の交代について 現理事 桑田有氏の後任本部理事候補及び拡大執行役員候補として宮澤陽夫氏（東北大学未来科学技術共同研究センター（NICHe）「戦略的食品バイオ未来技術構築」プロジェクトリーダー・教授）が提案され異議なく承認された。</p> <p>○報告事項 山口事務局長が資料に基づき下記内容を報告した。</p> <p>(1) 本部関係 (1)-1) 本部総会関係スケジュール (1)-2) メキシコ支部活動停止について 砂糖に課税するという政府方針について ILSI メキシコ支部名で反対を表明した。その行為は政治活動にあたり、ILSI の倫理規定に違反するため、本部よりメキシコ支部の活動停止が通達された。日本支部においても十分注意する必要がある。</p> <p>(1)-3) ILSI 本部会長について Dr. Rhona Applebaum 会長が 2015 年 12 月 31 日で退任し Dr. Peter van Bladeren が 2016 年 1 月 1 日より 2017 年総会まで会長に就任する。</p> <p>(2) 支部総会での報告内容 2015 年事業活動報告（案）、2016 年事業活動計画（案）が提示され、次回理事会までに内容を検討し、意見を述べるよう要望した。</p> <p>(3) 理事、監事改選 理事・監事再任者、退任希望者を提示した。メンバー構成を変更し官・学界のメンバーを産業界のメンバーより増加させるか同数になるよう選考を進めたい。</p> <p>(4) 第 7 回「栄養とエイジング」国際会議報告 国際会議レビュー（栄養研究部会）で会員から出された意見・要望が紹介された。次回の理事会にて意見交換を予定している。</p>